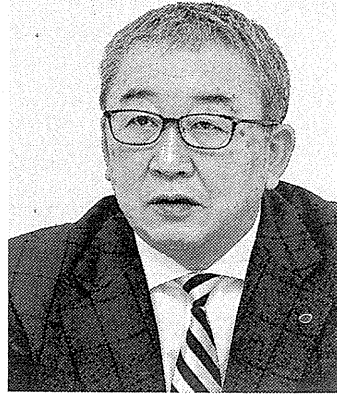


## ● 展望 2021 ●



昨年までの業績を振り返ると、工事は好採算工事の選別受注や、現場へのICT（情報通信技術）の導入による効果で利益率が改善してきた。アスファルト合材の出荷量も前年と比較して増加している。ただ、新型コロナウイルスで民間発注者が工事の発注を延期するなどの動きがあり、今後は民間の設備投資意

道路舗装

### 三井住建道路

### 松井 隆幸社長

## グループのシナジー生かす

欲が減退して工事量が減少することを懸念している。

こうした状況下で工事量を確保するため、三井グループ・住友グループのシナジー（相乗効果）を生かしてグループ関連工事の裾野を広げていく。また三井住友建設との連携をさらに強化していき

たい。三井住友建設の得意分野である橋梁工事で当社が舗装を担当することや海外展開など、施工で発展・推進できる余地はまだある。協力して施工に取り組むことで当社としての経験を蓄積していく。特命受注の拡大も目指す。

全体の受注件数に占める特命受注の割合は少ないが、価格競争だけでない指名受注につなげていく。

アフターコロナを見据え、社会や環境に貢献する企業としてSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みも推進させる。具体的にはリサイクル事業のさらなる拡大・強化や二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）削減、土壌汚染対策事業の強化などである。SDGsの観点から当社にできることをさらに強化し、企業としての生き残りを図っていく。



2021年3月期の第2四半期までの業績は、情報化施工の積極的な取り組みなどで工事利益率が良好しており、製品部門についても原油価格の安定に加えて出荷数量が増加していることから「概ね順調に推移している」と評価する。受注については「前期並みの結果は残せる見込みだ」と話す。

新型コロナウイルスの影響に

ついては、業績面への大きな影響はなかったが、「在宅勤務や時差出勤など、一人ひとりの働き方が大きく変わった」と話す。会議や発表会などもリモートへのシフトが進んでおり、コロナ後も効率化や多様な働き方の実現に向けてこれらの取り組みは深化させていく方針だ。

今期は3カ年の中期経営計画の2年目に当たり、上期が終わったところだ。「コンセプトの『変革に挑戦し、企業価値の増大と社会への還元を目指した経営の実践』の通り、順調に進捗している。数値的な目標は達成の見込みが立っており、重点施策である『魅力ある職場環境の実現』や『人材の育成強化』なども着実に前に進んでいる」と自信を示す。

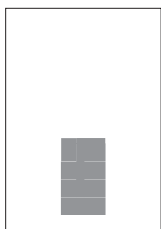
働き方改革では、21年4月から4週8休の完全実施を目標としているが、まだ100%達成には至っていないという。「毎月『労働時間等改善委員会』でのヒアリングなどの取り組みもあり社員の意識は変わってきている。同時に発注者側の普及と合わせて事務所作業を減らし、直行直帰を奨励している。電子決裁の導入によるペーパーレス化も始めた。「業務の効率化だけでなく、保管コストの削減にもつながる。ペーパーレス化はまだまだ取り組める余地があると考えているので、さらに取り組みを推進したい」と意欲を示す。

# グループ力生かして受注

「公共工事は道路の維持修繕や防災関係、無電柱化や共同溝の設置など生活環境の改善で一定の需要継続が見込めるだろう。一方、民間工事はコロナの影響で設備投資の落ち込みが懸念される。当社としては、高品質なものづくりで信頼を得て受注を継続させるとともに、三井グループ・住友グループのつながりを生かした受注の裾野をさらに広げていきたい」と語った。

理解を得ることができるよう、丁寧な説明に努める」と述べる。長時間労働の削減に向けては、情報化施工による工程の短縮や効率化を進めている。21年3月期はさらに技術系の社員を中心とした200人にタブレット端末を配布し、オフィスカー

22年3月期の見通しについては、「公共工事は道路の維持修繕や防災関係、無電柱化や共同溝の設置など生活環境の改善で一定の需要継続が見込めるだろう。一方、民間工事はコロナの影響で設備投資の落ち込みが懸念される。当社としては、高品質なものづくりで信頼を得て受注を継続させるとともに、三井グループ・住友グループのつながりを生かした受注の裾野をさらに広げていきたい」と語った。



三井住建道路

松井 隆幸社長



20年を振り返って  
 新型コロナウイルス感  
 染拡大の影響で休止した  
 現場などもあったが、業  
 績に大きな影響はなかつ  
 た。一方、社員の働き方  
 は大きく変化した。内勤  
 従事者が時差通勤や在宅

勤務を積極的に行い、社  
 内会議や技術発表会はW  
 eb会議を活用しリモー  
 トで実施するようになっ  
 った。

21年の展望

社員の処遇や設備改  
 善への投資を強化して  
 おり、働きやすい職場環  
 境の構築を着実に進めて  
 いく。また、ものづくり  
 の企業として高品質を  
 第一に、お客さまの信頼  
 を勝ち取ることに努め  
 る。三井・住友グループ  
 のつながりを生かした受

注活動を行い、裾野をひ  
 ろげる営業展開を図りた  
 い。

働き方改革

21年度の4週8休完全  
 実施に向け、社員の意識

処遇や設備改善へ投資強化

改革とお客さまへの丁寧  
 な説明を続けてきた結  
 果、土・日曜日とも休め  
 る社員が増えてきた。残  
 業が多い社員には、労働  
 時間等改善委員会がヒア  
 リングを行い対応策を検

討している。電子決裁、  
 ペーパーレスを進めるこ  
 とで業務の効率化ができ

21年度の4週8休完全  
 実施に向け、社員の意識

処遇や設備改善へ投資強化

改革とお客さまへの丁寧  
 な説明を続けてきた結  
 果、土・日曜日とも休め  
 る社員が増えてきた。残  
 業が多い社員には、労働  
 時間等改善委員会がヒア  
 リングを行い対応策を検

な働き方を整備してい  
 たい。

SDGsの取組み

SDGsの取組みで  
 は、リサイクル事業拡大  
 による資源の有効活用の  
 ほか、CO<sub>2</sub>削減の取組  
 み、土壌汚染対策など事  
 業活動を通して社会に貢  
 献したい。女性活躍は、  
 特に技術系の女性社員が  
 少ないので採用を強化  
 したい。女性の管理職を  
 増やしたいと考えてお  
 り、ぜひ目指してほしい。

改革とお客さまへの丁寧  
 な説明を続けてきた結  
 果、土・日曜日とも休め  
 る社員が増えてきた。残  
 業が多い社員には、労働  
 時間等改善委員会がヒア  
 リングを行い対応策を検